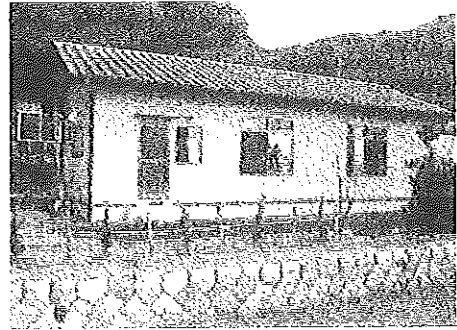


## 刈尾公会堂リニューアル

10月3日(日)刈尾公会堂の落成式が行われました。昨年より、公会堂の改修を計画し、今年度、念願かない新しい公会堂が完成しました。



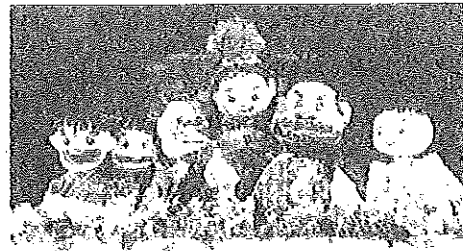
落成式当日はあいにくの天気でしたが、刈尾自治会員、来賓、また工事の際にご尽力いただきました黒髪石材の社員等、約40名が集まり、みんなで完成を祝いました。

## 劇団すぎのご公演・開催

11月29日(月)13時45分より、大津島小学校体育館にて劇団すぎのご巡回公演(市文化会館主催)が開催されます。入場料無料です。ご近所お誘い併せの上、多数ご来場下さい。

※演目※

人形劇「どろぼうのなみだ」  
(新美南吉「花のき村と盗人たち」より)  
絵話「にゃん吉の宝物」



問合せ先：大津島支所(85-2001)

## 移動図書館<やまびこ号Jr.> 11月19日(金)

- 瀬戸浜自治会館 10:40~10:50
- 大津島郵便局前 11:10~11:40
- 馬島巡航待合所 13:00~13:30
- 刈尾巡航待合所 13:50~14:10

## 編集後記<筆者の独り言>

急に寒くなりましたね。さて、紙面のとおり、藤沢秀行記念碑の除幕式が行われました。ご存知のとおり、囲碁の世界では著名な方でしたが、筆者も小学校5年生のときに、当時の担任の先生に誘われ、囲碁部に所属しておりました。ただ、1年で直ぐやめてしまったのでいまだに囲碁のルールがよく分かりません。もう一度チャレンジしてみるのもいいかな?と思う日々です。

情報・ご意見などございましたら市役所大津島支所までお寄せ下さい。

# 潮流

第210号 平成22年11月15日

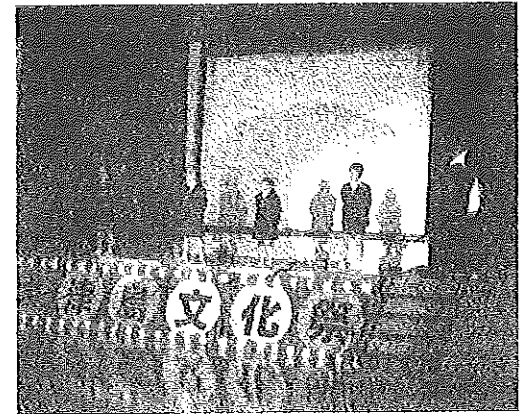
大津島地区コミュニティ推進協議会

## 島人の心に刻まれた文化祭

10月30日(土)大津島地区文化祭が行われました。

開会式の後、午前中は幼稚園の遊戯や小学校の学習発表会、中学生の合唱・合奏など、子ども達のステージ発表を中心に行われました。

子ども達は、この日のために、毎日練習をし、無事、皆さんの前で披露することができました。



今回のゲスト企画は、周南市内を中心に活躍するソプラノ歌手・鳥上洋子先生をお招きし、誰もが聞いたことがある有名な歌を歌っていただきました。

また、ピアノ独奏も行われ、楽しいひと時を過ごしました。



直前に台風が接近し、開会が危ぶまれておりましたが、皆さんの思いが通じたので、当日は秋晴れのすがすがしい一日でした。



## 島津市長と語る会

周南市の主催で「市長と語る会」が行われます。

この会は、市民のみなさんと市長が、人と地域の「繋がり」や「地域の振興」そして「地域のまちづくり」について語り合うことにより、市民の目線に立った開かれた市政の実現を目指すことを目的としております。

事務局より、各自治会長や各団体長を通じ、大津島に関する、市への要望事項を取りまとめたところ、多数のご意見要望をお預かりいたしました。

皆様よりお預かりいただきました要望等を元に、大津島のこれからのまちづくりについて、みなさんで話し合いをしませんか？

ご近所お誘い併せの上、多数ご来場下さいますようよろしくお願いいたします。

日 時：11月21日（日）14時30分～16時  
会場：大津島ふれあいセンター  
内容：市長講話（市政報告）  
地域課題に対する提言・意見・質疑応答等  
定 員：50名程度

問合せ先：大津島支所

## 人権教育講演会開催のお知らせ

毎年12月は人権月間です。

この度、小学生から高齢者が元気になってもらい、「生きている実感」につながるよう、人権教育講演会を開催することとなりました。

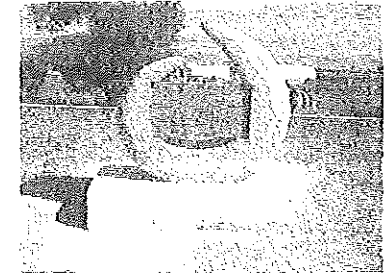
地域の皆様の多数のご来場をお待ちしております。

講師：有國 智光（ありくに ともみつ）さん  
周南市鹿野 長久寺住職  
演 題：「わくわく 生き生き ほっこり」  
期 日：11月26日（金）15：10～16：20  
場 所：大津島小学校体育館

問合せ先：大津島小学校

## 藤沢秀行記念碑・除幕式

10月17日（日）午後より、大津島公園にて故・藤沢秀行名誉棋聖（昨年5月死去）を顕彰するモニュメントの除幕式が執り行われました。



藤沢さんは横浜市出身ですが、瀬戸内海を舞台にした歴史書を愛読し、生前に「周防灘に散骨してほしい」と話していたことから、大津島沖に散骨されました。

このモニュメントは、高さ約1・7メートルで「海への旅立ち」がテーマであり、躍動する荒波を表現した弧の間から散骨場所が見えるデザインで、彫刻家中島幹夫さんが、大津島の御影石を使って、7月から約3か月かけて制作しました。

## 藤沢秀行さんとは・・・

大正14年6月14日生 神奈川県横浜市出身。本名は藤沢保。その後秀行に改名、本来の名前の読みは「ひでゆき」だが、「しゅうこう」と呼ばれることが多く、「しゅうこう先生」の名で呼ばれていました。

昭和9年、日本棋院の院生となり、福田正義五段に入門。平成10年10月引退。

棋風は豪放磊落（ごうほうらいらく）であり、厚みの働きを最も良く知ると言われ、うっかりミスで好局を落とすことも多かったが、「異常感覚」とも称される鋭い着想を見せ、「華麗・秀行」とも呼ばれました。

「序盤50手までなら日本一」とされ、序盤中盤の局後検討で結論がでない場合は「秀行先生に聞こう」というのが、かつての日本棋院での決まり文句だったようです。

生涯通算成績は1509局・852勝649敗8持碁（ジゴ＝引き分け）。昭和62年に紫綬褒章を、平成9年に勲三等旭日中綬章をそれぞれ受賞。平成18年には中日囲碁交流功労賞を受章しました。

また書道の方でも豪放な作品を発表しており、各地で個展を開いているほか、1992年には大相撲の貴闘力の化粧まわしに「気」の文字を揮毫、厳島神社などにも作品が奉納されています。